

未来の子みんなの絆で輝く瞳 「令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の概要等をお知らせします」



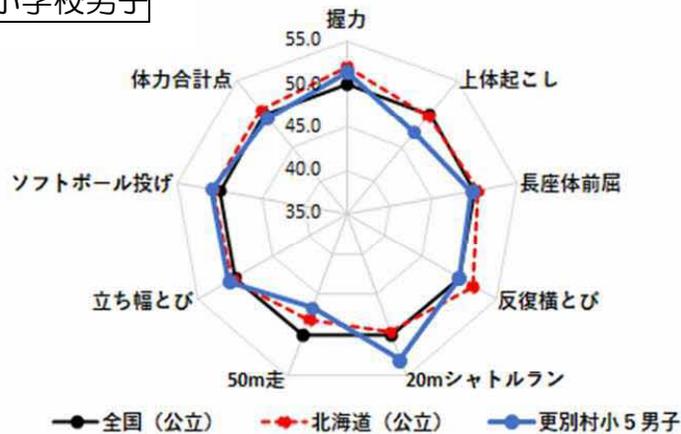
更別村教育委員会 令和8年3月

本年度、小学校5年生と中学校2年生を対象に「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」を実施しました。このほど結果がまとまりましたので、そのおおまかな内容についてお知らせします。この結果は、体力や生活習慣等の一部を調査した結果であり、全てではございません。結果をもとに、家庭・学校・地域社会で力を合わせ、子どもたちが生涯にわたり心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを楽しむ喜びを高めていきましょう。

1 全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果概要

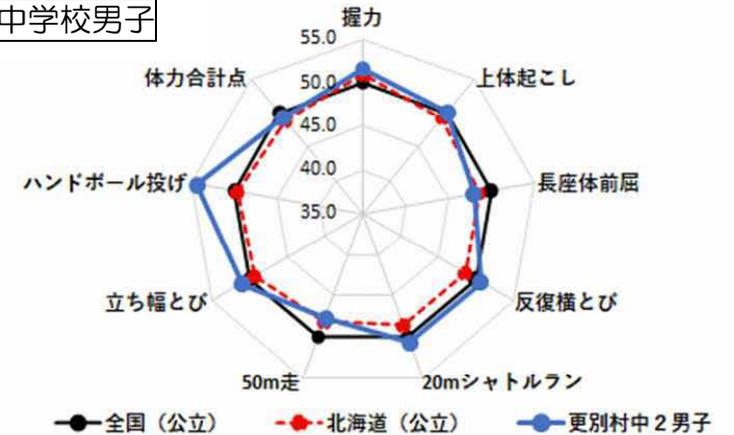
*下の図は全国の状況を50として、北海道と更別村の状況を比較したものです。

小学校男子

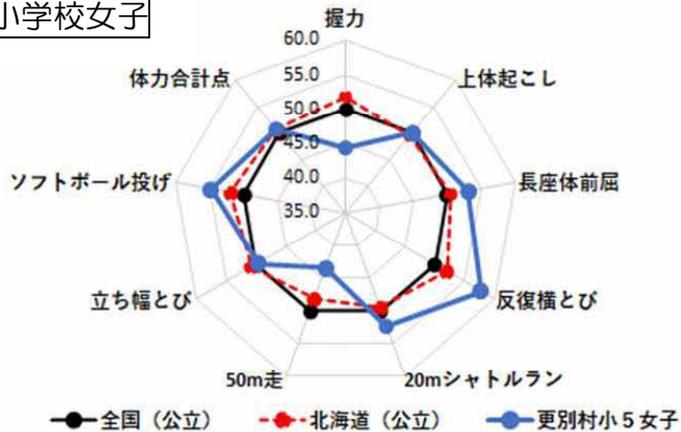


- 体の柔らかさ → 長座体前屈
- すばやさ → 反復横とび、50m走
- タイミングの良さ → 反復横とび、立ち幅とび
ソフト・ハンドボール投げ
- 動きを持続する能力 → 上体起こし、20mシャトルラン
- 力強さ → 握力、上体起こし、50m走、
立ち幅とび
ソフト・ハンドボール投げ

中学校男子

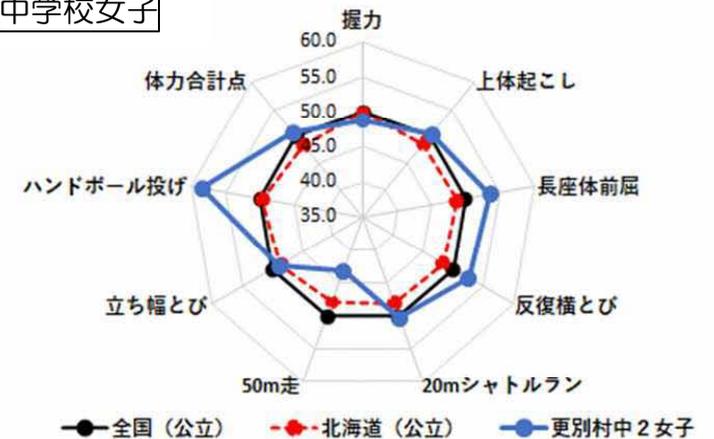


小学校女子



- R7 更別村児童生徒
- - - R7 北海道 (公立) 児童生徒
- R7 全国 (公立) 児童生徒

中学校女子



2 児童生徒質問紙に関する調査結果から見てくること

- 「1日のスクリーンタイム（テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている時間）が『3時間未満』『体育（保健体育）の授業は楽しい。』と回答する児童生徒の割合が、全国と比較しても高い、もしくは全国同等という結果となっています。
- 朝食を「毎日食べる」と回答した児童生徒の割合が、全国と比較して低い結果となっています。特に小学校女子は低い傾向にあります。
- ☆ 本調査の結果を踏まえたスポーツ庁の報告では、「朝食を毎日食べる」、「1日のスクリーンタイムが『3時間未満』」、「睡眠時間が、小学校女子は『8時間以上9時間未満』、男子は『9時間以上10時間未満』、中学校では男女ともに『7時間以上8時間未満』」、「1週間の総運動時間が420分以上」と回答している児童生徒は**体力合計点が高い**ことが明らかになっています。
- ◎ 更別村の結果からも、日常生活習慣が体格や体力、運動能力に大きく影響していると言え、食や日常生活を整えていくことが、肥満防止や体力、運動能力の向上につながっていくと考えられます。



「早寝・早起き・朝ごはん」の徹底を各ご家庭においてお願いいたします。

3 更別村コミュニティ・スクール（CS）として特に取り組むこと（CSアクションプランより）

目指す子どもの姿（重点化）

(学び) 自ら考え判断し、課題解決できる子ども (心) 自分を大切にできる子ども
(体) 根気強くがんばる子ども (郷土愛) いつもどこかに「更別」がある子ども



家庭の取組

- (学び) 子どものやる気を引き出す声かけやサポートをする。
- (心) 子どもの良さをたくさん認める。
- (体) 子どものチャレンジを家族で見守り、応援する。
- (郷土愛) 地域の活動や行事に参加する。



学校の取組

- (学び) 「分かった」「できた」と思える授業づくりをする。
- (心) 子どもが安心して過ごせる居場所をつくる。
- (体) 体育の授業、行事、休み時間などで十分な運動の機会を確保する。
- (郷土愛) ふるさと教育の充実を図り、更別への理解を深める。



地域の取組

- (学び) 学校や地域での子どもの学びを支援する。
- (心) 良いところは褒め、悪いときには叱る。
- (体) 少年団・部活動に、いろいろな形で応援や支援をする。
- (郷土愛) 子どもにとって安全で安心できる地域をつくる。



教育委員会では、「学力・体力向上等サポート会議」を開催し、村内3校の取組をサポートしています。